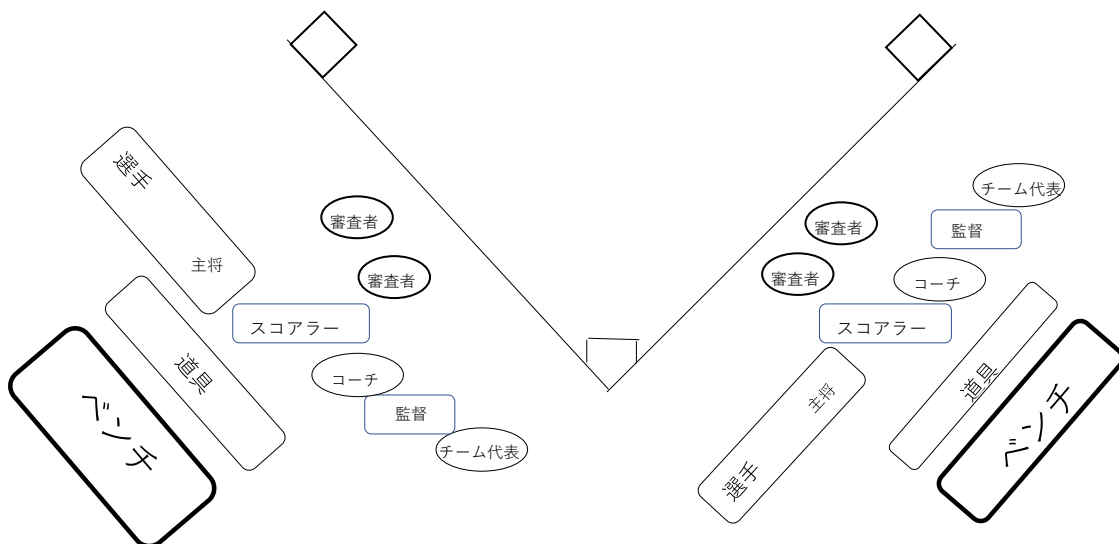


2025年変更点（確認事項）

- 試合時間**
- 中学部 2時間を越えて新しいイニングに入らない。
7回を終えて同点の場合は、8回からタイブレーク。
(延長戦はおこなわない)
2時間を越えて同点の場合、次のイニングからタイブレーク
決勝戦でも同様とする
タイブレークは決着がつくまでおこなう
 - 小学部 1時間40分を越えて新しいイニングに入らない
6回を終えて同点の場合は、7回からタイブレーク。
(延長戦はおこなわない)
1時間40分を越えて同点の場合、次のイニングからタイブレーク
決勝戦でも同様とする
タイブレークは決着がつくまでおこなう

審査

- 審査は、審査員から見て左から代表（責任者）、監督、コーチ、スコアラー、キャプテン、選手の順に整列する
- 代表（責任者）は連盟指定制服。指導者は選手と同じユニホームを着用し指導者用ワッペンを付けること
- スコアラーは選手と同じ帽子を着用すること。ユニホーム、短パン、Gパン、短パンにスパッツ、サンダルは禁止とする
- 道具はどこに置いてもいいが審査員は道具をまたがないこと



- 「フクダ電子」のステッカーをヘルメットに貼ること
- キャッチャーセットは2セット以上審査に出していい。
- 基本的に1セットでは試合ができないので他のチームに借りてもらうよう勧めるが最終判断は球場責任者に委ねる。
- ユニフォームのチーム名は通称名でOK。企業や商品名のステッカー等を貼る場合は会長承認が必要。
- 金具の入った手首を固定する用具はパートナー企業で扱っていない為NG。
- 走塁用の手袋はパートナー企業の物に限り、使用してもいいが脱着の為のタイムは認めない。
- アームスリーブは禁止とする
- 長袖アンダーシャツを着て片袖だけまくることは禁止とする
(アンダーシャツの両袖をまくるのなら半袖を着る事をおすすめします)
- 低反発バットについて、今後ボーイズリーグとして統一する予定はない。各チームで選択肢の1つとしては良い

- サングラス**
- サングラスの見分け方…可視光線透過率20%（室内で見ると分からないが屋外で見て眼球が見える）
 - 指定メーカーとフレームの色（一色、白ネイビー黒グレー）で判断。用具規定は常に確認する事。。
 - 投手も着用可だが白はNG

- マナーアップ**
- 連盟の手引きP54『マナーアップについて』の3.4.5はベンチ前から出て見守る事、手拍子をする事、出迎える事を禁止する。
 3. 攻守交代の際に、控えの選手がベンチを出て守備練習を見守ることを厳禁とする
 4. 得点した時、選手のリーダーが音頭を取り、声を揃えて手拍子する行為を厳禁とする
 5. 本塁打を打った選手をベンチから出た出迎えを厳禁する

- ベンチ**
- ベンチに扇風機の持ち込みは許可する。
 - ハンディーファンは禁止とする

- プレートミティング**
- 責任審判員・球場責任者・両チームの代表（責任者）・監督・主将の8名でおこなう

- 整列**
- 試合開始前の整列は選手のみがおこなう。
 - 代表（責任者）・監督・コーチ・スコアラーはベンチ前に整列する
 - シートノック、ベンチ前でのノックの時に補助者はヘルメット着用すること
 - シートノックとサイドノックの併用は可能（球場のルールに従う事）

- 本部**
- 試合開始時の1球目の起立は不要
 - 試合中の時計のストップは球場責任者が判断する。
 - 怪我の治療などで、グラウンド内での治療中は時計を止めない。
 - ベンチに下がっての治療で時間がかかる場合は、球場責任者が判断して時計をストップする
(責任審判員が時計のストップの判断はしないでください)
 - ボールボーイ配置数の理想は6人。内野2名、外野1名の両サイド。
4名の場合は内野外野1名ずつ配置する。
保護者をお願いする際は服装に気を付けて頂くようお願いする。
(ボールボーイの保護者はユニホーム、短パン、Gパン、短パンにスパッツ、サンダルは禁止)

- 応援方法**
- ボーイズリーグでは鳴り物の応援は禁止とします。メガホン、スティックバールンなどは禁止。手での応援だけとする
 - 他リーグとの交流大会などでも、ボーイズは鳴り物応援は禁止とします
 - 連盟主催大会、地方大会も鳴り物応援は禁止とする

- ビデオ撮影**
- 3脚を利用しての撮影は禁止です。手持ちでの撮影は可能
 - 連盟のライブ配信の担当者は「ライブ配信中」の腕章をつけること
 - ビデオカメラにはライブ配信の機材とわかるようにすること